

## R 5 学校評価アンケート 分析・対応等 (R5.10.20 現在)

回答数：73人中52人の回答が得られた(71%) 【R4:78% R3:91%】

### 1. 「[5]わからない」の回答率が高い項目

\*全体あるいは各学部ごと集計で、「[5]わからない」の回答が20%を超えた質問項目(4項目) 【R4:6項目】

「21 働き方改革への努力」

「25 体罰の防止への努力」

「26 いじめや差別への厳しい対応」

「28 進路指導における関係諸機関との連携」

\*10%以上増「3 特色ある教育活動」13.5%(8人)が回答(R4:1.8%)

### 分析

- ・(全体) コロナ対応のため PTA 総会の書面開催や授業参観、懇談等の人数制限や、学校行事の分散開催等保護者の来校機会の減少が影響。  
→本来は PTA 総会で説明するところが書面開催のみであったので、わかりにくかったのかもしれない。
- ・(全体) 印刷物やホームページ等を活用した保護者への周知の努力や工夫不足。  
→後期から印刷物やホームページ等を活用
- ・(全体) 「わからない」と回答された全体の割合が減少している。

### 対応

- ・(全体) 新型コロナウイルス感染症の地域の感染状況を踏まえ、学校医と連携を図り、感染症対策を引き続き継続しながら、行事や活動を実施し、授業参観はできる限り設定していく。今年度も、次回1月に授業参観を計画。また、懇談の際に学習の様子や成果、課題についての丁寧に情報提供を実施。
- ・(全体) 印刷物やホームページ等を活用した情報提供をさらに続ける。

2. 「[1]よくあてはまる」「[2]ややあてはまる」の回答率が高い項目

[1][2]を合わせた肯定的回答率が90%以上が24項目(R4:8 R3:22項目)、80%以上が34項目(R4:33 R3:35項目)と、昨年度よりも項目は少し増えている。

全体のR5 85% (R4:82.5%)の項目で肯定的な評価を得ている。

分析

- ・当校職員の熱心で丁寧な指導・支援が保護者からの一定の理解に結実。教員の自己研修・授業スキルの向上等の努力も反映していると思われる。

対応

- ・組織や自己も含め研修研鑽の機会も継続的に実施。
- ・保護者との、連絡ノートや電話による、丁寧な対応と情報交換の継続。

3. その他

- ・昨年度から、フォームズ(forms)を利用したアンケートを実施した影響で、回答率が低かった。 (回答者 R5:52/73人(R4:57/73人) 回答率 : R5:71% (R4:78%)  
フォームズ : R5:39人 (R4:42人)  
紙 : R5:13人 (R4:15人)  
紙の回答率 : R5:25% (R4:26%)
- ・「[4]まったくあてはまらない」の回答がなかった。(R4:1~2あった)